

やまと文化の森だより 企画展のご案内

好評開催中!! (最終日は 15:00 までの展示です)

- 9月の展示 (9/1 ~ 10/1)
 - 八朔祭パネル展 (9/1 ~ 9/5)
 - 熊本県神社庁 令和4年度写真コンテスト 受賞作品展 (9/1 ~ 9/10)
 - 出張 湯前まんが美術館 in 山都 那須良輔作品展 (9/7 ~ 10/1)

「ギャラリートークとワークショップ」9/17
ワークショップ オリジナル缶バッジを作ろう!
10:00 ~ 参加費 300 円
ギャラリートーク
【講師】 中尾 章太郎さん 高橋 颯希さん
13:00 ~ 参加無料

- 10月の展示 (10/4 ~ 10/29)
 - 出張 ロンド美術館「雨森三郎」展 (10/4 ~ 10/29)
 - 第3回 藤川道博作品展 (SDGs 関連ロングラン展示) (10/4 ~ 11/26)
 - 尺八とその仲間たち de 「街角コンサート」
10月7日 開場 13:30 開演 14:00
 - 祝国宝へ「通潤橋水物語」結成 25 周年 Viento (ビエント) コンサート
10月8日 入場無料 開場 13:30 開演 14:00
 - 伝統の技と知恵 曲げわっぱ弁当箱づくり 10月15日
参加費 定員 35 名 10:00 料金 4,000 円 事前予約制
 - 第5回「秋の蚤の市」10月21日~22日 出店者募集中



問合せ 山都町下市 16 番地 ☎ 72-9400 開館時間 9:00 ~ 17:00 入館無料
休館日 毎週月曜日 (月曜日が祝日又は振替休日の場合は次の平日)、年末年始等

山の都地域しごとセンター通信 vol.67

補助金の活用事例のご紹介

移住希望者等への支援制度【山の都定住支援事業補助金】の活用例を紹介します。写真は家財処分と改修工事で補助金を活用した物件です (写真は一部)。家財がなくなり、隣接する和室の壁を取壊したことによりキッチンからリビングルームへと広々とした空間になりました。

【山の都定住支援事業補助金】は空き家バンク制度に物件を登録後、契約が成立した物件の家財処分、改修工事、移転に必要な家財の運搬を対象に活用することができます (費用の 4/5 以内、上限額 100 万円)。空き家の利活用をお考えの方は、空き家バンクへの登録を是非ご検討ください。物件の登録、相談等の費用はいただきませんので、お気軽にお問い合わせください。

問合せ 空き家や移住・定住に関するお問い合わせは、お気軽にどうぞ。
山の都地域しごとセンター ☎ 72-9111 e-mail:yamato.shigotocenter@machi-y.jp



わたしたちの人権

222

誰もが人間として生きていくうえで
侵すことのできない当然の権利
これが『人権』です

人権作文の紹介 (令和四年度)

今月は、清和中学校二年(当時)大塚響介さんの作文をご紹介します。

差別・偏見について考えたこと

家族といっしょに買い物に行ったり、遠くに旅行に行くとき障がい者の人を見ると、「介護する人がいるくて大丈夫かな」と思ったり、「危なそうだから遠回りして行こう」と思ったりすることがあります。そして、「嫌だな」と思うことも多くありました。これは、自分が起こした差別や偏見だと思います。障がい者も一人の人間で、自分たちと同じように生きています。

ぼくは、今年ハンセン病について学習しました。ハンセン病の患者だけでなく、ハンセン病患者の家族も差別されていて、療養所をつくって、そこから出ることをさせなくしたりしてひどいと思いました。他にも結婚しても子供を産めなくしたり、患者が他の患者の看病をした

り、脱走したら監禁室に閉じ込められ、最悪そのまま亡くなる人もいたと聞きました。

ぼくが起こした小さな差別や偏見。世間が起こしたハンセン病患者への大きな差別や偏見。これは、誰がどのような形で起こしたのか、大きさは異なります。しかし、差別は差別。偏見は偏見、同じことなのです。

他にも人権学習で学んだことがありました。ハンセン病について学んだときの話です。DVDを見たとき登場人物のおじさんが「人は皆、差別の心を持っている。」と言いました。ぼくは、確かにそうだなと思いました。今でも差別が続いているのは、全員が差別の心を持っているからだだと思います。例えば差別の心を持っている人が少なかったら、その人の発言にのらなければ大きな差別にはなりません。誰かが発言したとき全員が差別の心を持っていなければ、その差別にのって人が増え続ける大きな差別になると思います。差別の心がある限り差別は大きくなって



いきます。だから差別にのらないようにすることが差別をうまないために重要なことだと思います。

そして、あと一つ差別をなくす方法は、無知を無くして、正しい知識をもっておくことが大事だと思います。ハンセン病では「親から子どもに遺伝する」、「治らない病気」、「感染力がとても強い病気」などと誤った知識がどんどん広がっていき差別されてきました。だから無知や誤った知識にまどわされずに正しい知識を覚えることで差別をなくすことができると思います。

ぼくは、今年の人権学習と自分のことを振り返りながら考えてきたけれど、今感染が拡大しているコロナでもハンセン病と同じようなことがいえると思いました。コロナが流行りはじめたときもハンセン病と同じように差別がありました。これは、今も差別が続いているからだと思います。差別をなくすために一人一人が自分の心の中に持っている差別の心をなくしていくことが大切だと思います。そして、差別がまた起きるときや差別を見かけたら周りの人たちがその差別を注意して差別をなくすことが大切で自分もそれをしていきたいです。

自分の人権を守り
他人の人権を守る
責任ある行動を



©2010 熊本県くまモン

山都交通 乗務員募集

「有限責任事業組合 山都交通」では、乗務員を募集しています。

応募条件等

- 【年齢】・制限なし
- 【資格等】・大型自動車第二種免許 (歓迎)
・大型自動車免許 (必須)
※いずれかの免許で可

問合せ 山都交通 ☎ 72-3880

勤務条件等

- 【就業時間】・午前 6:00 ~ 午後 7:30 (うち 7 時間)
- 【給与等】・日給 5,200 円 ~ 8,000 円
・その他各種手当あり
・社会保険完備
・日曜祝日は休日、有給休暇あり

